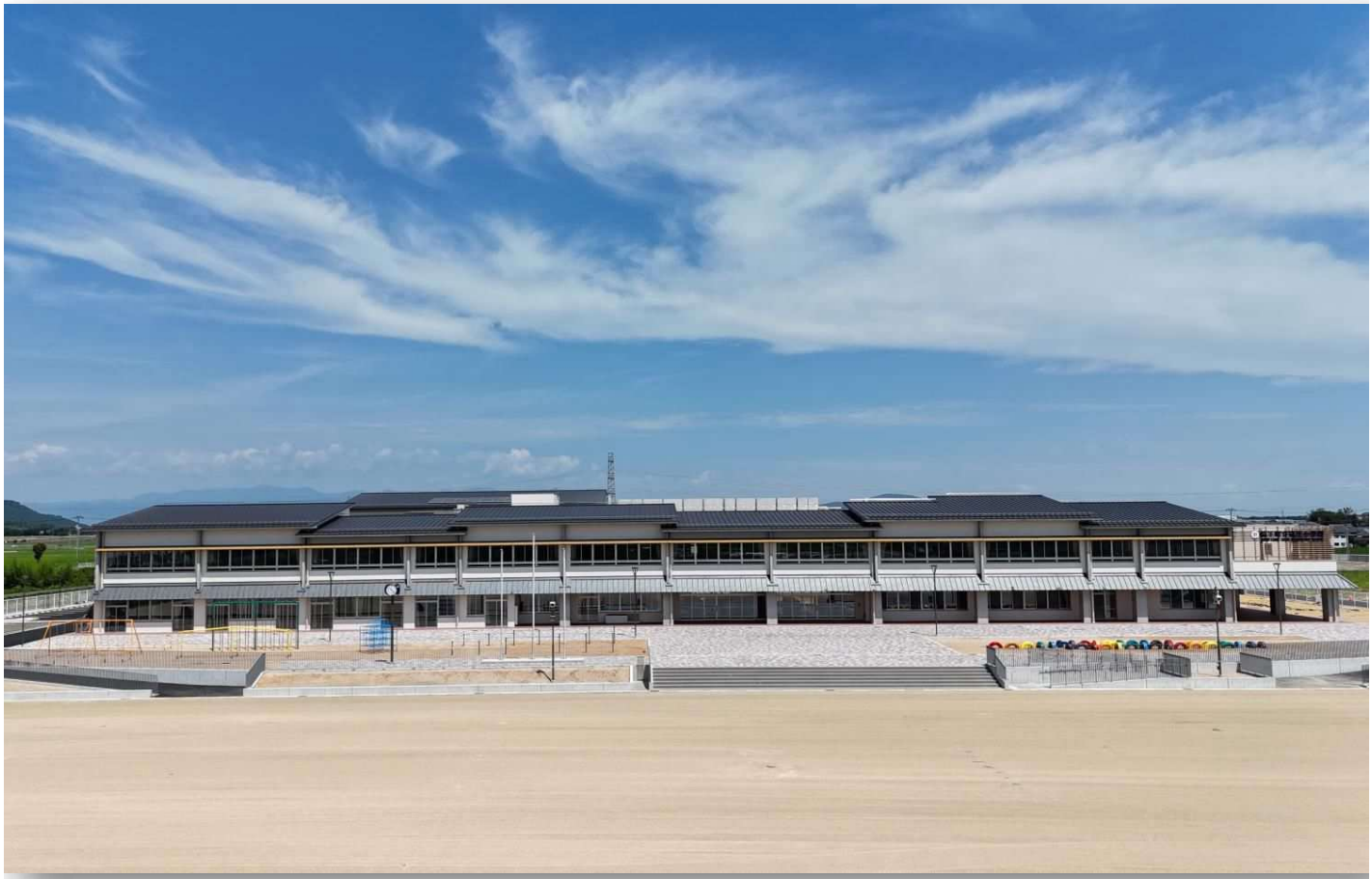
竜王らしく　キラリと輝く　『地域とともにある学校』



竜王町立　竜王小学校

Ryuo elementary school

滋賀県蒲生郡竜王町

竜王小学校整備のコンセプト

新校舎は、「竜王らしく　キラリと輝く　地域とともにある学校」をコンセプトに次の３つの柱を整備の基本目標に掲げて整備しました。

①　あたたかさとやさしさのある学校

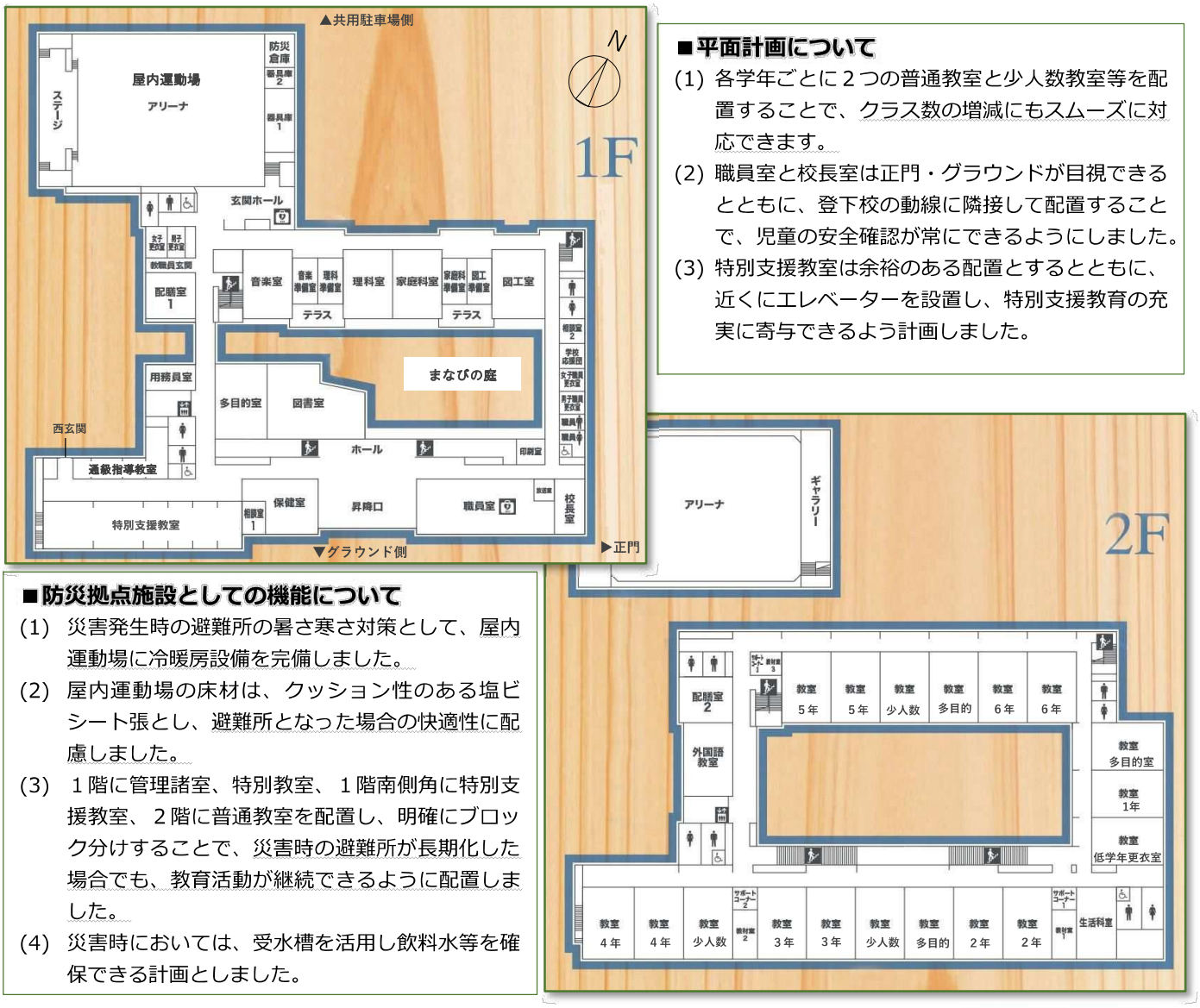
インクルーシブ教育に対応した安心・快適な環境を整備
（特別支援教室の配置、ワークスペースの設置）

②　学びがつながる・広がる学校

異学年交流や野外学習ができる「まなびの庭」や図書室の小上がりスペース・テラスによる学びの拡充

③　地域とともにある学校

地域に根ざしたデザイン（苗村神社の美しいルーバー形状）や学校運営協議会の拠点設置、空調完備で災害時も快適な防災拠点となる屋内運動場の整備



■平面計画について

(1) 各学年ごとに２つの普通教室と少人数教室等を配置することで、クラス数の増減にもスムーズに対応できます。

(2) 職員室と校長室は正門・グラウンドが目視できるとともに、登下校の動線に隣接して配置することで、児童の安全確認が常にできるようにしました。

(3) 特別支援教室は余裕のある配置とするとともに、近くにエレベーターを設置し、特別支援教育の充実に寄与できるよう計画しました。

■防災拠点施設としての機能について

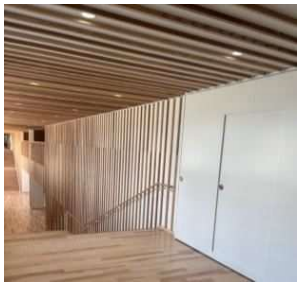
(1) 災害発生時の避難所の暑さ寒さ対策として、屋内運動場に冷暖房設備を完備しました。

(2) 屋内運動場の床材は、クッション性のある塩ビシート張とし、避難所となった場合の快適性に配慮しました。

(3) １階に管理諸室、特別教室、１階南側角に特別支援教室、２階に普通教室を配置し、明確にブロック分けすることで、災害時の避難所が長期化した場合でも、教育活動が継続できるように配置しました。

(4) 災害時においては、受水槽を活用し飲料水等を確保できる計画としました。

昇降口付近の天井



竜王小学校らしい地域に根差したデザインとして
学校からほど近い「苗村神社」の軒天部分に見られる美しいルーバー形状をデザインソースとした内装を階段１，２階周り、交流ホール周りに計画しました。

苗村神社楼門

普通教室

教室ごとに多目的ワークスペースを設置しました。
一斉学習やグループ学習など多様な学びに対応できる環境となっています。
可動間仕切りで学年ごとの交流にも柔軟に対応できます。

特別支援教室

特別支援教室は、保健室・職員室の近くにあり、見守りやすい落ち着いた環境としています。西玄関の設置により、通級の送迎を含め誰もが利用しやすいよう配慮しています。

家庭科室

理科室

図工室

図書室

昇降口近くの図書室は、「まなびの庭」に面した立ち寄りやすい空間としています。テラスや多目的室と一体利用でき、活発な学習や読書を支えます。

保健室

保健室は、職員室や昇降口に近く、緊急時の連携や登下校時の体調不良に迅速に対応できる配置にしました。

学校応援団室

コミュニティ・スクールの拠点として、会議や打ち合わせなど多目的に活用します。

まなびの庭

・図書室から繋がるテラス、歩行空間、芝生が心地よく絡み合う中庭です。
・境界のない開放的な設計が自然な人の流れを創出します。
・のびのびと走り回れる広さの中で、子どもたちが自分だけのお気に入りの居場所を発見できます。

・日常は児童の授業、休日や夜間は地域へ開放する屋内運動場です。
・室内外から使える防災倉庫を備え、災害時の避難所としてもスムーズに機能します。

屋内運動場

新校舎誕生までのあゆみ

- **2011（平成23）年：教育民生常任委員会へ報告**
  10年後を目途に「新しく建て替える」方針を決定し竜王町議会教育民生常任委員会に報告
- **2012（平成24）年～2013（平成25）年：中規模程度の改修の実施**
  学校施設環境改善のため、教室、ロッカーやトイレ、屋内運動場などの改修を実施
- **2014（平成26）年：竜王小学校学校運営協議会の設置**
  地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）として始動
  学校運営協議会を中心に、理想の学校像について先進地視察や議論を開始
- **2017（平成29）年：教育施設の今後のあり方庁内委員会を発足（庁内プロジェクト）**
- **2017（平成29）年：竜王町の教育施設の今後のあり方検討準備会議**
  委員：竜王小学校学校運営協議会、庁内プロジェクトメンバー
- **2017（平成29）年：竜王町教育施設の今後のあり方検討委員会を発足**
  委員：町社会教育委員、町立小学校長、町立小学校保護者代表、区長、関係行政機関経験者、町内事業所関係者、学識経験者
- **2019（平成31）年：竜王町の教育施設の今後のあり方についての検討結果報告書を竜王町長に提出**
- **2020（令和 2）年： 竜王小学校整備基本構想を策定**
- **2022（令和 4）年： 竜王小学校建設基本計画を策定**
- **2024（令和 6）年：竜王小学校建設実施設計を完了**
- **2024（令和 6）年：竜王小学校建設工事着工**
- **2026（令和 8）年：竜王小学校建設工事完了**

事業概要

■学校所在地　〒520-2524 滋賀県蒲生郡竜王町大字綾戸1070番地
電話　0748-57-0004／FAX　0748-57-0415

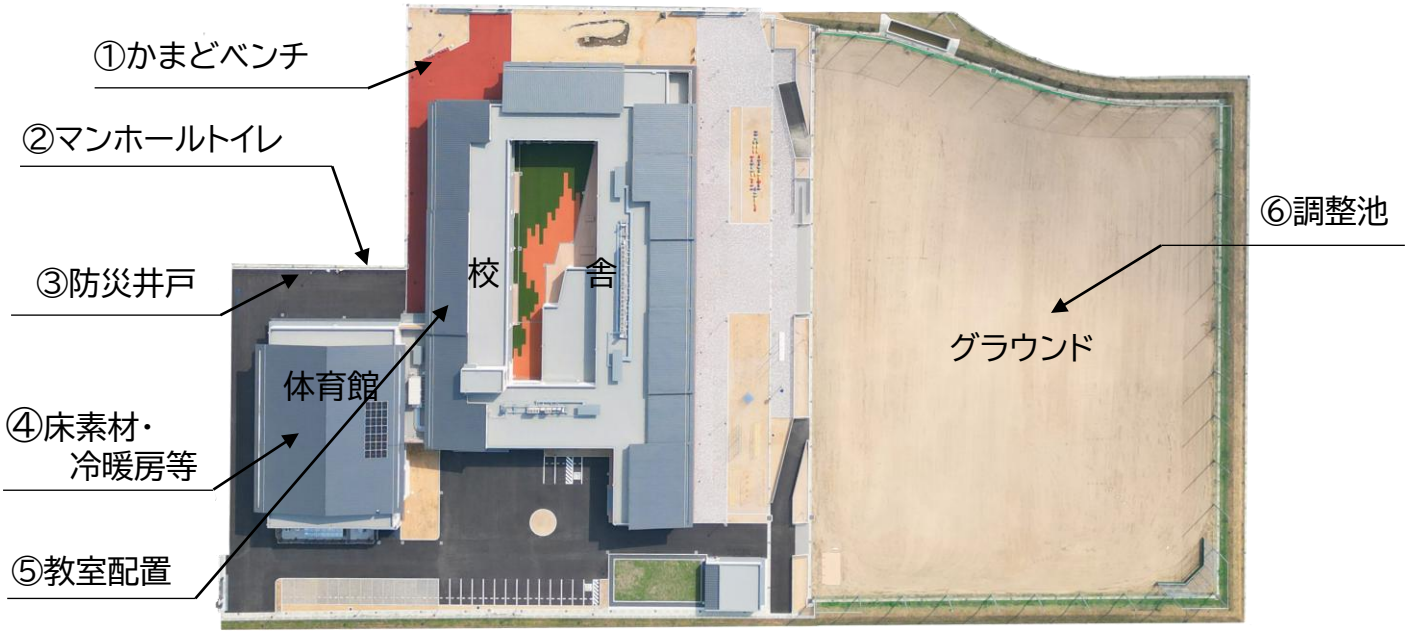
■施設概要

面 積	延床面積	建築面積
校舎棟	7,444.94㎡	4,065.88㎡
屋内運動場	1,513.39㎡	1,465.11㎡
附属棟	112.40㎡	112.40㎡
構 造	校舎棟　鉄筋コンクリート造 2階建て 屋内運動場 鉄筋コンクリート造 2階建て 附属棟　鉄筋コンクリート造 平屋建て	
施設の内容	普通教室、特別支援教室、音楽室、家庭科室、図書室、図工室、理科室、校長室、職員室、保健室、相談室、放送室、屋内運動場 他	

■施　　工　奥田・ヤマタケ・伊藤建設工事共同企業体
■設 計 監 理　株式会社 教育施設研究所
■建築工事費　4,096,313,100円
■工 事 期 間　令和６年10月29日（契約締結日）～令和８年７月17日

竜王町立竜王小学校の防災機能について

新しい竜王小学校は、指定避難場所および指定緊急避難場所（以下「避難場所」という。）としての機能を高めるため、様々な防災設備を備えた施設になっています。



①かまどベンチ

普段はベンチとして使用し、災害時には座板を外すことで炊き出し用かまどとして利用できます。
電気・ガスが止まったとしても、かまどベンチを使えば、お湯を沸かすことや温かい食事を用意することができます。

②マンホールトイレ

災害時にトイレが使えなくなった際、下水道管路のマンホールの上に簡易的な便座やテントを組み立てて設置することで、迅速にトイレ機能を確保できます。

③防災井戸

災害時に水道が止まっても、トイレの洗浄水などの生活用水を確保できる非常用の設備です。
通常は電動ポンプで水をくみ上げますが、災害時には手押しポンプでも利用できます。
また、災害時だけでなく、樹木の水やりなどにも活用しています。

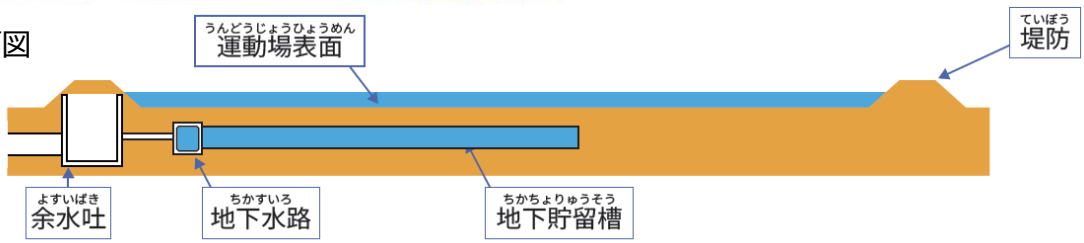
④床素材・冷暖房等

体育館は避難場所としての快適性を高めるため、フロアはクッション性のある素材を使用しています。
また、停電時でも対応できるようガス式の空調設備を導入しました。
他にも可搬型発電機、防災倉庫も備えています。

⑤教室配置

1階に特別教室、2階に普通教室をまとめ、避難場所として長期的に使用することとなった場合でも、教育活動がスムーズに再開できるよう配置しています。
また、家庭科室は災害時に炊き出し場所として使用することを想定し、外部からでも容易にアクセスできるようにしています。

⑥調整池

調整池とは、雨水を一時的に貯留し、洪水を防ぐための施設です。
集中豪雨などにより流入した雨水を一時的に貯留し、下流へゆっくりと流すことで河川の氾濫を防ぎ、周囲の土地や建物への水害を軽減する役割を持っています。
交流・文教ゾーンに降った雨水は、公園予定地の調整池、小学校グラウンドの地下貯留槽、グラウンド表面に溜まる仕組みになっています。これは、大字綾戸から大字弓削までを流れる一級河川新川の氾濫を防ぐためです。
集中豪雨の際は、グラウンド表面には最大50㎝の水が溜まる構造になっていますが、グラウンド周囲には堤防が築かれており、堤防を越えることはありません。
集中豪雨などでグラウンドに水が溜まったときは、安全のため水が引くまでグラウンドには近づかないようにしてください。

断面図